



# 80%ふたり旅 in HongKong



いおい3po

## どこ行く？何する？

---

お仕事のお休みが不規則な横浜の友達T子。

そのT子から突然のメール。

「今月末3連休もらえそうやから旅行いかない？」

転職活動しながらも、ちょうどの～んびり期間のど真ん中にいる私は一瞬迷った。そんなにお金ないし、どうしよう。でも時間は今しかない。それにT子の3連休なんてこの先いつあるかわかんない。というかタイミングが合うのはないかもしれない。お金の心配はありつつも行きたいって思ったら、返事はもちろん！！

「どこ行くー？」笑

それでも懐具合を気にかけてくれるT子に感謝しながら「わがままばかりはダメやけど、今したいことを我慢する人生はやめよう」と決めたんやったと思い直した。

そんな感じで、自然に海外旅行に行く流れになり話が進んで行った。問題は、この3日間を最大限に生かして満喫できる場所はどこかということと・・・

関東のT子と関西の私がどこで待ち合わせするかということ。

どこ行く？ツアー？自分たちで組む？そんな話を繰り返しているうちにあっという言う間に、3連休は近づいていた。3連休まであと5日しかない日に、あらゆることを考慮して決まったのは・・・

・

そう、香港！

そしてキャセイのエアーで同じような時間帯のフライトを選んでの現地空港集合。

海外で現地集合！これは初めてだ。

ホテルは駅近のお手軽＆比較的キレイなシャムロックホテルをBooking.comで予約。

考えてみるとツアーという名の旅行は久しく行ってないなあ。便利なようで便利でないツアー。時と場合によるとは思うけど、やっぱり自分たちでこうやって0から決めた旅の方が断然楽しい

。

そしてふと思ったこと。海外で現地集合がするのは大学の国際文化学部仲間のお決まりというか、ならではな感じやなあと思う。それが自然にできる関係っていいなって改めて思ったりもした

。

## ハプニングの種

---

エアは関空9時50分発で、T子より1時間早く香港に着く便にしていた。ということは、出発2時間前の7時50分くらいまでには関空に着いておきたいところ。高速バスはすごい便利だけど、交通状況で何が起こるかわからない恐さがあるのも事実。早めに着いておくことに越したことはないのだ。なので余裕を持って時間を調べる。

家を出たのは6時過ぎ、まだまだ涼しいというより肌寒い朝。でもその空気感が心地よくて、軽くて小さいコロコロをひきながら、自然と顔が緩む。にや〜。旅に出る朝はいつも少し浮き足立ってしまう。本当に自分が旅好きなんだなあと感じるのもこういうときだ。そして、旅するたびに荷物をパッキングする時間も短縮されていき、荷物の量も減ってきているという成長もある。

成長っていいのか？笑

少しずつ旅慣れしてきた証だろうかと思っている。そんなことを考えながら、電車もバスも遅れることなく、無事に7時45分に関空に到着した。

建物内に入り、ボードを見ると既にチェックインカウンターが開いていた。だいぶ早く着いて2時間前にもなっていないし、待つことになるだろうなあと思いながらバスを降りてきたから少し嬉しい誤算だった。さらにカウンターもめちゃくちゃ空いていて、席も窓側と通路側を選べたのはラッキーだった。席は出入りしやすい、通路側がお気に入り。あっという間に手続きが終わってしまい、荷物も預けて身軽になったところで、お決まりの1階にある本屋さんに向かった。旅のお供探した。

関空の本屋さんにはよく出発前に立ち寄り、飛行機や旅で読む旅本を買う。旅の前の儀式ってほどでもないけど、一つの流れみたいになっている。そして買うのはガイドブックではなく小説の方だ。でも今回はなかなかピンとくるものが見つからなかった。旅本売り場や小説売り場を2回3回往復した。それでも何か1冊は持っていないと落ち着かない気がして、何とか厳選して1冊手に取ってレジへ向かう。すると、お腹が少しキュルキュルしてきた。お腹が減ったのもあるけど、昨日からお腹の調子が少しおかしいこともあった。

会計を済ましてトイレも済ます。関空のキレイなトイレに入るとしばらくキレイなトイレとはさよならだな〜といつも大げさなことを思ってしまう。でもそれぐらい日本のトイレは快適ということだ。日本のトイレは世界一！これは間違いないと思う。

お腹も減って、マクドに入りのんびりすることにした。朝マックを注文。久しぶりに朝マックを食す。うん、おいしい。この塩加減が久しぶりにおいしい。ゆったり朝食を楽しみながら、携帯充電できる便利さに感謝しながら持って来ていた香港ガイドブックをここに来て初めて開いてみる。とにかく必要な情報だけでも頭に入れておこうと思って読み込んだ。実は、空港から町へ出る方法や何をするかは一切決まっていなかったし、調べてもいなかったから、一夜漬けのよう

な状態だ。まあなんとかなるでしょ、そんな甘い考えのまま、T子にメールをする。

「空港にスタバあるみたいやから、そこで待ち合わせしよ～」

この1通のメールが後の待ち合わせで大きな波乱を生むことになるとも知らずに。

## キッチリとゆったり

---

それからあっという間に9時になり、手荷物検査を通過する。何も引っかかることなくスムーズに進んだ。実はこの手荷物検査、ある出来事から通るときに変な緊張感に襲われる。羽田空港で国内線に乗ったときのこと、いつもと変わらない荷物で通過すると、ランプが光った。

なんで？！

そして「荷物のなかにナイフらしきものが映っているようなので出してもう一度通していいですか？」と係の人が一言。もちろん、そんな危険なものは持っていないので、どうぞどうぞ。しかし、またしても引っかかる。

そして今度は「このポーチの中のものがそのように映っているようなので開けて出してもいいですか？」と。

(なんか出されるのは気が引けるなあ、でもしょうがないなあ・・・) どうぞどうぞ。

すると、犯人はカフェでいつも重宝していたバッグハンガーキーホルダーだった。

それがナイフのように映ったのだと。

な～に～？！

その後すぐ無事に通過できたんやけど、ずいぶんと時間をロスしてしまったなんてことがあった。そんなちょっとした事件以来、手荷物検査を無事通過できるたびに妙にホッとしてしまう。

ゲートに向かい空いているベンチに座り、まだまだ搭乗できないのでさっそく買った本を開く。・・・が、ん～いまいち内容が入ってこない。ページが進まない。なんでやろう・・・仕方なく、テレビを見て過ごすことにした。そんな感じでいつの間にか搭乗開始時間になっていた。

チケットの席に辿り着くと、3人並びのシートだったがラッキーなことに隣2席は誰もいなかった。やった～広々とリラックスして使える～と小さなハッピーを噛み締めた。しばらくして定刻より早く離陸し、空の上では「アナ雪」字幕版を見た。実は少し前に台湾に行ったときにも機内で「アナ雪」吹き替え版を見て、帰国後も映画館で吹き替え版をもう一度大きなスクリーンで見っていた。にもかかわらず、3度目にしてまた感動で目がウルウル。あっという間に見終わってしまった。

ランチにはCAさんが「チキンかビーフか」を聞いてくれた。日本人のCAさんも2名乗っているというアナウンスもあったが見かけることはなかった。だからもちろん全部英語で聞いてくれるCAさん。

それじゃあチキンにしようかなと思ひ頼むと、

「あ！チキンなかったんだ。ビーフでいい？」と。笑

なんで聞いたん～！？その口になってたやん～！と心の中でツッコミを入れつつ、

「ビーフでいいよ」と答えた。しょうがないよね、嘆いたって。

「それから飲み物は？」と言ってくれた種類の中から、  
「Spriteをお願いします」って頼むと、  
「あ！Spriteないからコーラでいい？」と。笑  
まあ同じ炭酸系やけど！でもなんでないのに言ったんよ～！とまた心の中でツッコミを入れつつ  
、  
コーラを受け取る。ありがとう。  
どこまでもマイペースなCAさん。  
いやあ、笑えました。

海外へ出ると、こんな出来事にふと肩の力が抜けることが多々ある。  
なあんか、こんな感じでもいいんやなあっていう、ほっこりする感じ。  
家族のような友達のような距離感の接客に自然と笑顔がこぼれる。  
日本人の繊細さと気遣い、海外の人のおおらかさと自然さ、どっちも持てる人になりたいなあ  
とったりしながら、ご飯をほおばった。

そんな楽しい食事を終え、くつろぐ。気づけば着陸態勢に入り、あっという間に香港に着いて  
いた。

## 「茶」

---

飛行機を降りて、手荷物をピックアップしにターンテーブルに向かう。これがまた、出てくるまでに時間がかかるんよね。閑空ならのんびり歩いてたりなんかすると、もう既に荷物がターンテーブルに流れてたりするから、この差はどこから来るのかな？といつも不思議になる。働く人の問題なのか、システムの問題なのか、そういうタイムスケジュールなのか。そんなことを考えていると、ターンテーブルが動き出した。

予想通り、滑り台のような斜面を勢いよく滑り落ちてくる荷物たち。とにかく荒い。音がもうバコンバコン言っている。オーストラリアの空港でもそうやったなあと懐かしくなった。でもオーストラリアと違ったのは、このあとだった。バコンバコン落ちて来て、ゴロンゴロン転がるを取りやすいように取っ手側を上に向ける係のおばちゃんがいた。おお！これは素敵！と思わず感動してしまった。

そんな光景を眺めているうちに小さな黒のビジネス用コロコロが見えて来た。もちろん取っ手がこちらを向いて。無事に荷物をピックアップして、入国ゲートを出た。お迎えの人たちがちらほら。そんな中を突っ切って、空港内のスタバを目指す。お金はというと、一応5000円分くらい日本で両替してきた。レートから考えると、香港市内もしくは香港空港内でするのが一番やったけど、どんな感じになるのか想像できなかったので保険として替えてきたのだ。

スタバに着くと、びっくり！！想像とは違い、すごく小さな店舗で席も少なく満席だった。1時間もあるわけやしテイクアウトでベンチを探すのもなあと思い、手前にあったマックカフェに入ることにした。

もちろんメールでT子に知らせる。

「マックカフェの奥の席にいます」

このマックカフェだが、日本のそれとは圧倒的な違いがあった。メニューを見てびっくり。メニューの種類がすごい多い。そして気になった「Soy Green Tea」を注文。26ドル。日本円で言うと370円くらい。物価はそれほど安くもなく、むしろ一緒か高いくらいのような感覚だった。

でも、出てきたソイグリーンティーを見て驚いた。まず、抹茶粉で表面に「茶」という文字のデザイン。そして大きなカップに並々まで注がれたグリーンティー。新しい！！ギリギリまで入れすぎのグリーンティーは席に持って行くのに苦労した。なんせ荷物もあるのに、持っただけでこぼれそうなティー。

まずは荷物を置きに行って、ティーを恐る恐る運ぶ姿を見た2人のおばちゃんが微笑む。その微笑みに私もこれ入れ過ぎですよ〜という意味を込めて微笑み返した。

店員さんのサービスは荒々しく、淡々とこなし、ティーは溢れるほど入っていて、正直味も大丈夫

夫かなあと不安にもなっていたけど、飲んだ瞬間に全てが吹っ飛んだ。甘すぎずめっちゃおいしい。抹茶ラテ。ソイの独特の匂いはあまりなく、すごく飲みやすくて、あったかくて最高においしかった。

## ようやく旅がはじまる

---

マックカフェでソイグリーンティーを堪能しながら、香港ガイドブックをさらに読み込んだ。もうほとんど暗記したのではないかというくらい。というのは大げさかな。でも一通りのイメージが掴めた頃には、時計の針は14時半を指していた。もうそろそろT子が着いていてもおかしくない時間。

でも送ったさっきのメッセージが既読になる気配はない。

空港内が工事中なのか、すごい音がする。ガガガガガ・・・

と、そんなことに気を取られている場合じゃない。お母さんに連絡し、T子のフライト状況を聞いてみるともうとっくに着いているはずとのこと。え！！??

・・・変な汗が出た。急いでマックカフェを出て、スタバへ向かう。・・・いない。

スタバの周りのベンチも回ってみる。・・・いない。

到着ゲートに向かう途中に、不在着信に気づいた。T子からだ。

すぐに国際電話をかけた。

すると、到着ゲート近くにいるとのことだった。どこどこ??走って向かうと、見えた!すぐに会えた。小さな空港でよかったあ。

ネットが上手く繋がらず、マックカフェにいるよというメッセージが届かず、スタバを探したとのことだった。あっちゃあ~やってしまったあ!余計なことをしたばかりに。

申し訳なさと、会えてよかった安堵感と、入り交じった気分だった。

ほんとうにごめんね。

T子は両替も済ましたというから、私も両替機械で1万円分だけさらに両替をした。

ふう~香港での現地集合の結果は予定の1時間遅れの15時頃になったのでした。それからは、香港ガイドブックを読み込んだ成果(?)をT子に伝えるべく、町に出る方法を伝えた。列車とバスの手段があるが、値段を比較するとバスということに決まり、さっそく空港の建物を出た。

その瞬間、私たちに一気にまとわりついてきた!そう、湿気!!

香港は湿度80%気温30度という凄まじい蒸し暑さだった。汗が一瞬で吹き出した。

そんな蒸し暑い中、ふたりの旅はやっとスタートしたのであった。

空港を出てすぐのバス停でバスが来るのを待つ。心と台湾の記憶がよみがえる。そう、運賃を払うときおつりもなければ両替機もない。つまり、小銭がないと損をすること間違いなし。そういうところは日本と比べてしまい、やっぱり大雑把だなと思ってしまう。とは言え、おつりは無いと言うしどうすることもできず、無駄がないように2人分を一気に払うことで1ドルほどの過払いで済ませた。ばいばい、1ドル。小銭に両替できるシステム作るか、せめてゲームセンターにあるみたいな両替機を空港に設置してほしいと思うのは私だけだろうか。もしかしたら他に良い方法があるのかもしれないが・・・

そんなふうにして少し不満に思いながら後ろの方の席に着く。ここでやっとホッとする。さて、今日は何しよう、どこ行こう。お互いが集めた情報を共有し、目星をつけていく。荒い運転のバスに揺られ40分ほどもすれば町に到着し、目的地のホテル近くの駅周辺に着いた。Jordan駅だ。私たちが泊まるホテルは香港島の向かいにある九龍の地域にあるネイザンロード沿いに立っている最高の立地にあるシャムロックホテル。地下鉄の出口ナンバーを頼りに、ホテルを探す。それにしても蒸し暑い、汗がとまらない。ただ歩いているだけなのに、じわ〜と汗ばむ。今日家を出たときの朝の涼しさを考えると、異国に来たんだということを身体全体で感じる。

シャムロックホテルは思ったよりすぐに、無事見つかった。受付カウンターで名前を言って、チェックイン。荷物を部屋まで運んでくれるサービスにすこしばかり。ありがたい。いま思えばあれはチップを渡すべきだったのだろうか・・・でもチップのない国だったはずだし、問題ないかなと思いながらも気になった。

部屋はキレイで、なによりクーラーの涼しさに、心にやと気が抜けてしまった。ここで作戦会議をしてから出よう、その意見で一致した。

まず、目を付けたのはこの暑さにもってこいの「マンゴーアイス」だ。どうやらここから歩いてすぐのところにお店があるらしい。とにかくネイザンロードを散策しつつ、そこを目指そうということになった。さあさあ、蒸し暑さに負けないように気合いを入れてホテルを出る。湿気80%香港の町へ、出発だ。

町を歩くと、気づいたことがたくさん。まず、このネイザンロード周辺は若者の町・繁華街というかお買い物街だということ。それからこの町にはドラッグストアが日本のコンビニの数以上にあるのではないかといいくらいあちらこちらにある。1ブロックに1軒ドラッグストアがあるんじゃないかっていうくらい。

コンビニはどうかというと、東京と一緒にセブンイレブンが多い。

そして、背の高い建物が多く、どの部屋も窓の外にクーラーの室外機を出しているせいか、通りを歩いていると、しょっちゅう頭の上に室外機から出る水滴が落ちてくる。めちゃくちゃ汚いわ

けではないかもしれないけど、それを避けるのが一苦労だった。2・3回頭に落ちたことは今も忘れない。

気づけばネイザンロード沿いに一駅分歩いて、Yau Ma Tei近くに着くと、すぐにマンゴーアイスのお店が見つかった。

## 暑さで一旦

---

学生で賑わうマンゴーアイスの店ってイメージで、すぐに席に案内された。相席?!という席と席の間隔が狭いテーブルに一息つく。暑さでアイスをめちゃくちゃ欲してたのに、店内に入った瞬間冷房が効きすぎて寒すぎてアイス食べる気が少し萎えかけた。でもでもせっかく来たのに食べずに帰るなんてありえない!!香港では有名な「許留山」に来たんやから。マンゴージュースにマンゴーアイスと白玉とマンゴーが浮かんだ「多芒小丸子」を注文。あっという間に席に運ばれてきて、もちろん写真におさめて、いただきまーす。

ん〜マンゴーの甘さと冷たさに暑さを完全に忘れる。むしろ早く蒸し暑かった外に行きたくなるくらい体の芯から冷やされた。エネルギーチャージ、OK!

勢いよく外に出たのも束の間、すぐにあの冷たさと涼しさが恋しくなった。なんせ湿度80%。何回も言うけど、ベタベタする暑さなのだ。

暑さに負けずと、町を散策。どこに向かっているのかわからないけど、流れに任せて通りを अच्छにこっちに歩く。でも通りを渡るたびに勇気がいった。地元の人には車に負けじと、避けながらささっと渡っていくけど、止まる気のない容赦ない車が通る道を渡るのは結構ひやとした。それも最初だけでだんだんと慣れてきたのは言うまでもない。

ドラッグストアに入ったり、いろんなお店をウィンドウショッピングして、また干涸びそうになってきた。歩くだけでこんなに体力を消費するなんてと思いながらも。2人の意見は「一旦ホテルに戻って計画を練り直そう!」

決まれば早く、ネイザンロード沿いに戻って行きとは反対側の道を歩き我がホームシャムロックホテルへと向かう。部屋に付くと妙に落ち着く。はぁ〜何もしないのになんかすごい脱力感。さてさて作戦会議パート2。

香港に来たからにはこれは見たいというものがあつた。それは、「シンフォニーオブライツ」。なにそれ?と思った方。香港の100万ドルの夜景を楽しめるちょっとショーだ。毎日20時から10分ちょっと繰り広げられる音と光のショー。ホテルから歩いていけるプロムナードから見れるというから見に行かないわけにはいかない。

ということで、20時まではまだ時間があるので、歩いてゆっくり向かい、近くの町を散策しながらプロムナードに行こうということになった。そしてその後にディナータイムにしよう。

## 100万ドルの夜景

---

チムシャツォイという一駅離れたところにプロムナードはある。このホテルからそのエリアまでの一体は繁華街で歩くだけでも町並みが楽しい。ということでお腹を減らすためにも歩き観光スタート。

広場で写真を撮ったり、お店を見ながら「なかなかおみやげになるものないなあ」「うわっこれ甘そう〜」などで勝手なことを行ったり楽しんでいるうちにどんどん時間は近づいていた。プロムナードにあるブルース・リーの像と写真も撮りたかったので、向かう。プロムナードという海沿いの歩道には香港映画に貢献した映画監督や俳優の手形などがある。誰が誰なのかは私にはさっぱりわからなかったけど、ザ観光地なようで中国系の観光客の人たちがはしゃぎながら指を指しパシャパシャ写真を撮っていた。私はというと、ブルース・リーさえ写真に収められれば良かった。

薄暗くなってきてだんだんと反対岸の建物がキラキラしはじめる。夜景に近づいている。そんなふうに

日が暮れてきた通りを歩いていると、人だかりができているところを見つけた。ブルース・リーの登場だ。

西洋系の観光客がブルース・リーとポーズを取って写真撮影していた。それを見て「私もやりたい！！」とT子にお願いしてスマホを渡した。像に上り（良かったのか・・・笑）いざポーズを取ると、予想以上に目立つ（汗）みんながこっちを見ていて「Nice!」とかなんとか言っていて、正直やってから恥ずかしくなった。その様子が伝わったのか、T子にも「撮ろうか？」と聞くも「いいよ、大丈夫」と言われてしまった。笑

それから音と光がいい感じの場所を探し、海沿いのポールにもたれられる場所を確保し、はじまりを待つ。

そこからが長かった。まず何より暑い。蒸し暑い。はしゃいでるときは気にならなかったけど、ただ立ち止まるということがこんなにも不快なんて。汗が止まらない。持ってきたサラサラシートで拭いてもすぐに汗は噴き出し、爽快さは一瞬で消え去った。

そして、時は来た。音楽が流れ始め、反対岸の香港島のオフィスビルたちが光り出す。日本企業の看板、韓国企業の看板など、あらゆるものがキラキラ。10分程のショーが終わった。

感想はどうかというと、個人的には期待しすぎた？という感じだった。チャイニーズなメロディーに合わせて光る建物はキレイなんやけど、なんていうか盛り上がり箇所がないというか単調な気がして少し残念。あ、今ので終わりなんやね？というフィナーレでした。でも無料なんやし文句言っちゃあかんとなすぐに思い直し、これはこれでよかったと思った。香港に言ったら一回は見えておいて損はないと思う。でも一回でいいかな。笑

さて喉がカラカラお腹もペコペコ。日本から持ってきたグミでなんとか誤摩化していたけど、限界が近づきレストラン探しへと歩みを進めた。

## おっちゃん食堂

---

もうすぐ21時ということでそりゃお腹も減るよね。いち早くお店を見つけないけど、どこがおいしくていいのかわからず、とりあえず2人の直感で広場にあった地元の人らしきおっちゃんたちが多いレストランに決めた。蒸し暑いのにテラス席が人気なようで店内よりテラスの方がいっぱい。

海外ではよくこういう風景を見かける。でも蒸し暑いこの香港では中で食べたいかなと思い、店内に案内してもらおう。

すると数組しかおらずガラガラ。接客は雑く、メニューもいまいちわからないけど、英語の説明を見てお肉がのった麺などを頼んだ。それにしてもここの接客のおっちゃん、無愛想。水なども言わないと持ってきてくれないし、面倒そう。日本では当たり前なのが海外に出ると当たり前ではないと強く思い知る。特にこういう飲食店に入ると感じる人が多い。まあこれも異国感ということで楽しむことにしている。

ご飯の味はというと、まあおいしかった。なんていうか特徴を説明しづらい。まずくもないし、特別おいしい訳でもなく。お腹は減っていたけど、量はちょっと多くてお腹いっぱいになった。まあ明日以降はリサーチしてお店を決めようということは2人で一致した。お腹も膨れたことで帰路につくことにした。

でもまた歩いて戻るのに距離があるので、セブンイレブンでFRESH DELIというフルーツジュースを買う。日本では見たことないデザインで、絞り立てジュースのような感じのボトルジュース。これはおいしかった。日本でも売ってほしい。いつか発売されるんじゃないかと期待しているが2015年現在はまだ叶っていない。

歩いているとホテル近くの駅近くの道の途中で、スヌーピーカフェを発見。めちゃくちゃかわいい。スヌーピー好きの私としては行っておきたかった。でもお腹に入る余裕なんてなく、T子の「行かなくていいん？」という優しさに感謝しながらも写真を撮るだけにとどめ、ホテルへと向かう。でもやっぱりせっかくだし、夜食にちょっとアイスでも買って帰ろうよということで、またコンビニに行く。

香港も日本同様でコンビニが多いから本当に便利！チョコアイスと香港で欠かせない水をボトルで買いホテルに戻った。

ホテルに戻るとまずは靴を脱ぐ！！この開放感がたまらない！！旅のときってどうしても歩く量が増えるから、宿に戻って靴脱ぐ瞬間の開放感って最高じゃないですか？この喜びを感じつつ、アイスをはおぼりつつ、素敵なシャワールームで汗を流し、うとうとしながら明日の計画を立てる。

そんな感じで夜はふけ、眠りにつきました。

香港一日目、大満喫。

二日目はどんな一日になるんだろう。

## 暑い時こそ

---

朝起きて昨日決めた計画を実行するため、準備を進める私たち。

今日の朝食。これはもう2人で決めていた。

香港に来たなら、やっぱりあれを食べなきゃということで、おかゆの老舗を目指そうと、早めにホテルを出ることにしていた。目指すは香港島にある、とあるお店。

ホテルを出るとお馴染みの湿気！むわっとする空気に少しげんなりしつつも、地下鉄へと向かう。そして今日はお金を無駄にしないためにも、オクトパスカードという日本でいうところのICOCAやSUICAのようなチャージ式のカードを買うことに。地下鉄の改札近くのサービスカウンターで買えるんやけど、対応する駅員さんは一人の上、先客の対応に長引いている様子。仕方なく列に並び、順番を待つ。

こういうところ日本ではあんまりないというか、だいたい2・3人はスタッフいるよなあと、また日本のサービスに感心してしまった。まあ日本と比べるのがおかしいのかもしれないけどね。いろいろ旅すると発見や感じるものがあっておもしろいよね。

無事カードも買え、地下鉄に乗り込んだはいけど、通勤ラッシュのせいかすごい人混みやった。旅をすると、その土地の日常にいることをふと忘れるけどこの人の日常がいつも今もここにあるわけで。むしろお邪魔しますやなあと思ったりもした。

香港島の金鐘Admiraltyという駅に着くと、路面2階建列車であるトラムに乗り換える。アジアではここでしか乗れないという2階建列車。

湿度80%で暑い香港だけど、風を切って走るこのトラムの2階は爽快な気分になれた。降りる駅の名前だけが頼りで、どのくらいかかるのかわからないし、アナウンスや表示がないから次がなんという駅かもわからず、とにかく勘に任せて降りたら、あとは地図を頼りに進んだ。

少し歩いていると看板が見えてきた。

地元の人たちが集まるキレイなお店。少し遅めの朝ご飯になってしまったが、スペシャルおかゆを注文し、

待つこと数分。具沢山のほかほかおかゆ。外は暑いけど、冷房で冷えた体にすーっとしみ込む、おかゆ。

優しい味で最高においしい！！そして、おかゆのお米が日本のおかゆと違って、形が無くなるまで煮てあるよう。とろとろでめちゃくちゃおいしかった。

お腹も満たされ、また暑い町へ繰り出し、トラムに乗って香港島散策スタート。

さぁ香港二日目、暑さに負けじと楽しむぞ～。

## 香港島

---

トラムの2階の席を陣取ると、風景や町並みを見て楽しんだ。写真撮ったり動画撮ったり、トラムに乗ること自体がアトラクションのようだった。

まずは北角NorthPoint方面に向かった。すごいのがにぎやかな市場のど真ん中をこのトラムが走る。車が抜けるように、それが自然な光景なんだ。きわきを歩く買い物袋を下げたおばちゃん、野菜や魚を売るおっちゃん。市場をトラムの2階から見下ろすのは不思議な気分。市場を抜けるとすぐに終点、NorthPoint。そこで降りて、市場を少し歩いてみる。すごい活気があって、買い物する人でいっぱい。今日も晩ご飯のおかずかな？お店の買い出しかな？たくさんの人が買っていく。ちょっぴり香港の住人のような気分を味わえた。

そこから大きな通りに出て歩いてみた。香港島は九龍半島とはまた違った都会。東京のような神戸のような色んな要素がミックスされた感じ。私たちは単なるお買い物には興味がなかったので、上環・中環周辺SOHO&NOHOという最近ホットだというスポットに行くことにした。またトラムに乗る。

2階の一人がけの席に縦に並び座った。生温い風がびゅんびゅんと顔に当たり、高層ビルがどんどん横を通り過ぎていく。心地よい揺れ。どこか懐かしい感じがするこの景色に2人とも、暑さからの疲れもあってかウトウトしてきた。T子が先に意識を失うように眠ったようだった。居心地がいいとは言え海外。この考えが頭から抜けず、T子が眠った瞬間私の頭は冴えてきた。こういうところ、なんというか抜かりないのが私の性格。まっオーストラリアの列車では寝てしまったんやけどね。笑

心地よいトラムに30分くらいだろうかと、揺られていると目的地に着いた。さっきよりさらに近代的な建物が並ぶ。銀行がいっぱいある。このあたりが昨日見たショーの光っていた建物一体だ。トラムを降りると、さっそくスイーツを食べようとカフェを見つけた。「Honeymoon Dessert」というお店。あとからガイドブックを見ると、ここは香港二大スイーツチェーン店の一つやってみたい。もう一つは昨日行った「許留山」ね。

さっそく空いている店内に座って注文。マンゴーパンケーキという看板メニューとマンゴージュースに決定。パンケーキというけどイメージしているものとは違い、クレープ包みのようなものだった。甘さは激甘。私はちょっと苦手かなっていう甘さ。おいしかったけどね。ジュースはもう最高。香港はこんなにマンゴースイーツが充実していて羨ましくなる。

お腹も満たされ、というかこの旅ずっと満たされている（笑）食べてばかりです。食べた後はおみやげになりそうなものを求めて、町を散策。

SOHO&NOHOという地域はオシャレな町で、かわいい雑貨屋さんがあって、町並みもどこかアーティスティック。写真を撮りっぱい撮った。おもしろい黄色いお辞儀オブジェと一緒に写真も撮った。

買い物はというと、あまりにも現代的すぎて正直日本でも買えそうな雑貨が多くほしいものはなかった。なんていうか旅先ではココでしか買えないものとかを買いたい主義なもので。ということでウィンドウショッピングだけやけど最高に楽しかった。

このあたりは西洋人もすごく多くてまた違う雰囲気。

それからまたおいしそうなものを見つけてしまったんよね。

エッグタルト。ふふふ。タイチョンベンガーというお店。熱々のエッグタルトがまたこの暑さで食べるのが最高。喉乾いたのは言うまでもないけど。ここのエッグタルトは50年の歴史がある老舗らしく、6HK\$のお値段で食べられる。最後の香港総督は世界一と絶賛したらしいけど、ほかにエッグタルトの店ってそんなにあるのかな？と思ったのはここだけの話。とはいえおいしいんやから文句はありません。おすすめ。

色んなお店を覗いたり、歩いたりしているうちにすっかり夕方になり、港まで歩いた。向こう岸にはホテルがある九龍半島が見える。ここまでは地下鉄で来たけど、実はフェリーでも渡れる。帰りはせっかくやしフェリーに乗ろうということでフェリー乗り場に向かっていた。

実はこのフェリー乗り場には来たことがある。大学時代オーストラリア旅の帰り香港経由だったため、乗り継ぎの隙間時間で町へ繰り出した。その時に乗ったのがこのフェリー。あのときは真っ暗町しか見ていなかったから方向感覚がわかってなかったけど、ここに来て「あ、あのときのところや！」と気づいた。気づくの遅い。

ここからすごく安く乗れるフェリーに乗り、九龍半島へ戻る。ああこの揺れ。遠くを見ておかないと少し酔いそうな感じ。忘れていた感覚にすこしげっそりしながらすぐに反対岸に到着した。

今日こそは美味しい中華を食べようということで「翠園」というお店に行くことに決めていた。飲茶♪チャーハン♪とわくわくしながらお店に向かうと、豪華なエントランスで団体客が多そうな感じだった。他にもお店が入っているようで一回では同窓会らしき受付をやっていて、不思議な雰囲気にも包まれていた。そんな人だかりを抜けてエレベーターに乗ると綺麗な店内にたくさんの円卓。

思ったより空いていてすぐに席に案内された。メニューは英語版もあって説明を読む。こういう時ザ観光地のお店のいいところは英語メニューがあるところ。海外でもこの英語メニューに助けられることは多いと思う。特に漢字ばかりだとさっぱりわからない。

メニューをしばらく眺めて迷っていると、店員さんがまだかまだか3人くらい様子を見に来る。視線を感じ、半分急かされながら、チャーハンにエビシュウマイに・・・といろいろ紙に書いて渡した。

あっという間にテーブルに料理が並び、取り分けて食べる。めちゃくちゃおいしい！！濃すぎず、薄すぎず、最高の味付けでどれもおいしい！！ここにしておかたあと2人で大満足。

でも食べるたびに下げにくる店員さんがおもしろかった。早いなあ（笑）

中華料理ってどの国にもあるイメージがあるからきっと世界一周に行っても助けられることがあるんやろうなあと思う。

おいしい中華料理を思う存分堪能して、お腹も満たされて、幸せな気分でいっぱいになった。食べ終わってからはさらに店員さんの視線が強くなり、もう笑えるレベルやった。他の席はほとんど空いてるし、待っている人もいないのになんで？本当にツッコミどころ満載で、ご飯がおいしい中華料理屋さん「翠園」にぜひ行ってほしい。夜はふけてきて、お店を出てホテルの方向へと向かうことにした。

## 夜市

---

お腹もいっぱいだけど、香港の夜を楽しまなくては。だって明日はもう帰国する日。最後の夜は最高に楽しまないと後悔する。これは旅する時にいつも思っている。最後の夜の大事さというか簡単に寝たらもったいないという感覚。ということで、今日はナイトマーケットに行くことにしていた。

女人街と男人街。雑貨やおもしろTシャツなどなど面白いものがいっぱいあるみたい。そこを目指しながら、ドラッグストアやスーパーでおみやげを買った。のど飴や日清のインスタントラーメン、軟膏など香港ならではのものをかう。おみやげにしては、買った品物が渋いというか変わり種だなあと思いながらも結構満足している。香港にしかないものを買おうと思うと、結構生活感があるものが揃ってしまったのは否めないのだけど。

そんな感じで無事おみやげも着々と買っていき、ナイトマーケットに到着。

せっかくなので屋台が並ぶお店で食べたい気もしたけど、お腹がいっぱいなので食はあきらめてショッピングを楽しむことにした。とにかく観光客がいっぱい。

さっそく角のお店でかわいいポーチを発見！！4つで安くしてくれるし、他のお店より断然安いという。てか、他のお店でも同じの売ってるの？と思いながらも、少し安くしてくれたので2人で2個ずつということで購入。お姉さんの勢いとトークに押されたところもあったけど、満足してまた歩き始めると、他にもおもしろいお店がたくさん。

いかにも偽物のブランド系バッグやTシャツなどなど。堂々と売っていて、みんなそれを楽しんで買っていく。ここだからこそその空気感がなんだか楽しかった。

しばらくウキウキしながら歩いていると、さっきのポーチと同じのが売っているお店を発見。でも異変が・・・値段が、5つでさっきのと同じ値段。1個分損してる！！

何が断然安いだ～～～。

T子にいうと笑っていた。これはあのお姉ちゃんに言いにくいこうという「ほんまに？」とT子は言っていたけど、通り道だしダメもとで言ってみた。

でもダメダメ～もう交渉は成立したでしょという感じで聞き入れてもらえず。

はあ、交渉失敗。これも海外あるある。海外に出ると値段があってないようなものが多い。交渉する力、日本人には欠けているなあとつくづく思う。というか私はどうも人を信じて騙されてしまうというか、もう一押しが足りないなあと思う。

関西生まれ関西育ちとしては情けない。

まあ損はしたけどおみやげだし、これ以上ごちゃごちゃ言わず楽しむことにした。とにかくナイトマーケットは活気がすごく、歩いているだけでも十分楽しめた。結局買ったのはポーチだけやったけど、大満足してマーケットを後にしてホテルへと向かった。

香港二日目も最高の一日だった。

あとは明日帰国ギリギリまで楽しむのみ。

今日は夜遅くまで遊んだせいかクタクタで一瞬で眠りたいところだったけど、そうも行かない。明日朝にはここを出発するから、荷物をパッキングしなくちゃいけないのだ。昨日出したばかりなのになぁなんて思いながらも、さくさくと準備してベッドに入ると一瞬で眠りに落ちたのだった。

遠いところで何か音がする・・・

ん？ここはどこ？ふと目が覚めると、目覚ましが鳴っていた。あまりに深い眠りだったのか香港に来ていることをふと忘れていた。目覚ましをとめるも、昨日夜遅くまで遊んだせいか眠気に負けそうになる。T子も眠そうだ。でも今日は夕方には帰国する。なので1分たりとも無駄にしたいくないという想いでなんとか起き上がる。

今日の朝食はホテル近くにある地元の人が通う喫茶店のようなところに行くことに決めていた。こっちは日清のインスタントラーメンがお店で出てくるのはひとつのステイタスのようで、その麺とパンとコーヒーのセットがモーニングになっている。

チェックアウトして、お世話になったシャムロックホテルにさよならして、笑顔いっぱいのドアマンに見送られながら朝食に向かった。

お店は本当にすぐ近くにあった。地元の人で賑わっていた。私たちが入るときにも一組出てきて、人気のお店だというのが伝わってきた。席に案内され、例のモーニングを頼む。

朝からインスタントラーメンとか初めての体験かもしれない。パンは暖かくてバンズのようにバター塗って食べるとおいしかった。コーヒーもカップにたっぷり入っていて、とてもお得なセットだった。朝からすごくリッチな食事をしたような気分。

さて、朝のエネルギーをチャージして最終日スタート。

今日は空港方面に行くことにしていた。案はいくつかあった。

香港のディズニー？いや、時間がなさ過ぎる。

近くにある大仏を見に行く？ロープウェイに乗る時間を考えるとバタバタかな。

アウトレットに行く？ちょうどいいかも。

シティゲートアウトレットというところが空港に行く途中にあり、時間を考えるとちょうどいいだろうということでそこへ行くことにした。近くの駅から地下鉄に乗り、向かう。香港の便利なところは地下鉄で自由に行動できることだと思う。空港にも地下鉄で行けるし、無駄なく行動できる。

あっという間に駅につき、駅直結のアウトレットモールに到着する。

邪魔なコロコロはロッカーに預けて（このロッカーもオクトパスカードで預けれる便利さ）、いざ最後のショッピング！

## 解散♪

---

アウトレットということは、安くなっている！あんまり買わないつもりだったけど、思わずほしいものがあって、カードで払ってでも買ってしまった。

スーパーではスープの元を買い、あとはストール2つにコンパクトリュック。安くてデザインに心を奪われてしまったんやもん。残りのHK\$を使い切ろうぐらいのつもりやったのに、思わぬ誤算。でも最後まで楽しめてよかった。最後はハーゲンダッツカフェでアイスを食べ、2人で旅を振り返って、またどこかいこうねなんて話をしているとあっという間に時間は過ぎた。

三日間という短い時間やったけど、行こうって決断してよかった。T子が誘ってくれたあの時断っていたらこの旅はなかったんやから。旅ってなんでこんなにも私をワクワクさせるのかなあ。きっと当たり前の日本での日常に色んな気づきを与えてくれる新鮮さや発見があるからだと思う。

日本は大好き。

でも日本にいると色んなことが便利で、色んなことが当たり前になりがち。

そんなときに外に出てみると、いろんな感謝や嬉しさを感じる。

もちろん旅している最中もそうやし、日本に帰ってきたときにも。

それがまた自然と日常に当たり前になってしまうのだけど。

だからまたそのときには旅に出ればいい。

私はそんな生き方が好きだし、この心地よさを知らない人にもっと知ってほしい。

この香港の旅ももうすぐ終盤。

空港の駅が近づき、地下鉄を降りると、ブワッと人が改札に向かった。オクトパスカードの残額が足りなくてどこでチャージするんやろうと思いつつ、人の流れに逆らえずそのままの勢いで改札でピツとしてしまった。

が、普通に通過できてしまった。あれ??ま、いっか。通過できたし、次オクトパスカードを使うのいつになるかもわかんないし。最後の最後まで、ゆる～い香港でした。

旅に行くと感じることがもう一つあった。人生結構、ま、いっかでいけることって思ったより多いのかもしれないということ。変に生真面目な私にとってそんなことを思わせてくれる海外。だから旅が好きなんかも。

空港で最後の香港での時間を過ごし、時間が迫る。

もちろん、T子は関東へ、私は関西へ帰る。

つまりは、現地解散。

空港の中でゲートは離れたところだったので、分かれ道まで一緒にいって、そこでまたね。

楽しかったわあ、ありがとう。

また日本で。

香港で解散って変な感じやなあ。

気をつけてね。

ばいばーい。

こんなふうには私たちの旅は幕を閉じた。

ゲートの前のベンチにつく。ふうと一息つき、搭乗時間になるまで関空で買った本を手取る。

続きがたっぷりあるので、時間を潰すのには困らなかった。

そしてたった2日前のことなのに、今日はこの本のページをめくる手はスムーズだった。

これも旅マジックの一つだろうか。

これだから旅はやめられない。

次はスペイン&モロッコ旅が待っていた。

どんな旅になるんだろう。

なんて、帰国の途中からそんなことを考える私は旅バカだ。